



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月5日

上場会社名 関西ペイント株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4613 URL <https://www.kansai.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 毛利 訓士  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長執行役員 (氏名) 高原 茂季 TEL 06-6203-5531  
 経営推進部門長  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	120,448	23.2	8,487	△2.8	13,197	13.7	6,450	20.6
2022年3月期第1四半期	97,767	25.2	8,730	126.7	11,611	123.2	5,346	148.6

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 16,965百万円 (11.2%) 2022年3月期第1四半期 15,260百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	25.18	23.84
2022年3月期第1四半期	20.80	19.35

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	625,147	379,118	51.8
2022年3月期	600,057	375,114	53.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 323,597百万円 2022年3月期 320,019百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2023年3月期	—				
2023年3月期(予想)		15.00	—	15.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	460,000	9.7	29,000	△3.6	36,000	△4.3	21,000	△20.8	82.47

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動):無

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:有

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	272,623,270株	2022年3月期	272,623,270株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	18,661,968株	2022年3月期	15,729,917株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	256,132,119株	2022年3月期1Q	257,009,285株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当期における世界経済は回復基調にありますが、地政学リスクの顕在化を背景とした供給制約及び原材料価格の高騰に加えて世界的なインフレの影響もあり不確実性が大きい状況となっています。そのような状況下、中国においては、感染症拡大を受けた活動制限の強化などにより景気は減速しました。その他の地域においては、景気は回復基調もしくは持ち直しの動きが見られました。わが国経済は、供給制約や原材料価格の高騰などによる下押し圧力を受けているものの、輸出や鉱工業生産は増加しており、基調としては持ち直しています。

当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は1,204億48百万円（前年同期比23.2%増）となりました。営業利益は、原材料価格高騰の影響が継続し、売上増に伴い販売費用が増加する中で、販売価格への価格転嫁などの利益改善に取り組み、前期同期並みの84億87百万円（前年同期比2.8%減）となりました。営業利益が前年並みとなった一方で、円安の影響による為替差益の増加などにより、経常利益は131億97百万円（前年同期比13.7%増）となり、また親会社株主に帰属する四半期純利益は、64億50百万円（前年同期比20.6%増）となりました。

各セグメントの状況は以下のとおりであります。

#### 《日本》

自動車分野では、自動車生産台数が前年を下回り、新車用及び自動車部品向け塗料の売上が前年を下回りました。工業分野では、産業機械向け塗料の需要は低下したものの、販売価格の改善に取り組み売上は前年を上回りました。自動車分野（補修用）、建築分野及び防食分野では、市況の本格的な回復には至らなかったものの、販売価格の改善に取り組み売上は前年を上回りました。船舶分野では、市況は回復し売上は前年を上回りました。利益は原材料価格高騰の影響は受けたものの、為替差益の発生などにより前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は353億83百万円（前年同期比2.9%増）、経常利益は51億27百万円（前年同期比25.9%増）となりました。

#### 《インド》

自動車分野及び建築分野では、前年が感染症拡大を抑止するためのロックダウンの影響を受けていたこと及び販売価格の改善に取り組んだことなどから、売上、利益ともに前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は346億13百万円（前年同期比63.7%増）、経常利益は35億71百万円（前年同期比60.0%増）となりました。

#### 《欧州》

トルコでは、自動車分野及び工業分野において自動車生産台数の減少やインフレによる需要への影響があったものの、原材料価格の高騰に対応した販売価格の改善に取り組み売上は前年を上回りました。その他欧州各国においても、工業用分野及び自動車分野（補修用）を中心に堅調な需要に支えられ売上は前年を上回り、欧州全体の売上は前年を上回りました。一方で、利益はインフレの影響などによる販売費及び一般管理費の増加により、前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は235億37百万円（前年同期比30.2%増）、経常利益は10億23百万円（前年同期比34.4%減）となりました。

#### 《アジア》

中国においては、自動車生産台数は前年を僅かに上回ったものの、感染症拡大の影響による主要顧客の需要減少により、自動車分野での売上は前年を下回りました。工業分野では産業機械向け塗料において、主要顧客の需要が減少し、売上は前年を下回りました。これらの結果、中国全体での売上は前年を下回りました。インドネシア、タイ及びマレーシアにおいては、自動車生産台数の回復を受け、売上は前年を上回りました。売上高が増加した一方、利益は原材料価格高騰の影響を受け、前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は160億80百万円（前年同期比7.2%増）、経常利益は21億25百万円（前年同期比21.4%減）となりました。

#### 《アフリカ》

南アフリカ及び近隣諸国の経済は回復が遅れており需要が低迷する中、販売価格改善の取り組みにより南アフリカ地域の売上は伸長しました。東アフリカ地域では、建築分野において堅調な需要を取り込み売上は伸長し、アフリカ全体の売上は前年を上回りました。過年度より継続している不採算事業の整理による固定費削減に加え、感染症関連保険金の受領もあり、利益は前年を上回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は92億47百万円（前年同期比20.3%増）、経常利益は11億95百万円（前年同期比355.1%増）となりました。

《その他》

北米では、自動車生産台数は前年並みに推移し、売上は前年を上回りました。一方で、利益は原材料価格の高騰による影響及び持分法投資利益の減少などにより前年を下回りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は15億86百万円（前年同期比5.9%増）、経常利益は1億53百万円（前年同期比80.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は、2,979億56百万円（前連結会計年度末比213億5百万円増）となりました。流動資産の増加は、主に受取手形、売掛金及び契約資産などが増加したことによるものであります。

② 固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産合計は、3,271億91百万円（前連結会計年度末比37億83百万円増）となりました。固定資産の増加は、主に有形固定資産などが増加したことによるものであります。

③ 流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は、1,911億94百万円（前連結会計年度末比181億10百万円増）となりました。流動負債の増加は、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債などが減少したものの、短期借入金などが増加したことによるものであります。

④ 固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債合計は、548億34百万円（前連結会計年度末比29億75百万円増）となりました。固定負債の増加は、主に退職給付に係る負債などが増加したことによるものであります。

⑤ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,791億18百万円（前連結会計年度末比40億3百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、2022年5月11日発表の2023年3月期通期連結業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	64,677	59,980
受取手形、売掛金及び契約資産	110,085	123,454
有価証券	3,414	3,242
商品及び製品	46,317	51,668
仕掛品	7,318	8,206
原材料及び貯蔵品	35,583	40,651
その他	12,960	15,071
貸倒引当金	△3,706	△4,320
流動資産合計	276,650	297,956
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	61,484	62,901
その他（純額）	71,949	74,979
有形固定資産合計	133,434	137,880
無形固定資産		
のれん	27,573	28,002
その他	21,374	22,333
無形固定資産合計	48,948	50,336
投資その他の資産		
投資有価証券	94,192	89,943
その他	51,468	53,885
貸倒引当金	△4,636	△4,855
投資その他の資産合計	141,024	138,974
固定資産合計	323,407	327,191
資産合計	600,057	625,147

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	72,896	81,909
短期借入金	7,646	60,594
短期社債	-	10,000
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	60,010	-
未払法人税等	2,451	3,531
賞与引当金	4,601	2,861
その他	25,476	32,296
流動負債合計	173,083	191,194
固定負債		
退職給付に係る負債	7,486	7,827
その他	44,372	47,007
固定負債合計	51,859	54,834
負債合計	224,942	246,028
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,658	25,658
資本剰余金	21,277	21,527
利益剰余金	279,551	282,109
自己株式	△26,187	△31,388
株主資本合計	300,299	297,906
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,070	37,411
繰延ヘッジ損益	△1,790	△1,535
為替換算調整勘定	△23,071	△14,523
退職給付に係る調整累計額	4,512	4,338
その他の包括利益累計額合計	19,719	25,690
非支配株主持分	55,095	55,521
純資産合計	375,114	379,118
負債純資産合計	600,057	625,147

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	97,767	120,448
売上原価	66,102	87,255
売上総利益	31,665	33,192
販売費及び一般管理費	22,934	24,705
営業利益	8,730	8,487
営業外収益		
受取利息	116	99
受取配当金	777	895
持分法による投資利益	1,760	1,490
為替差益	142	2,540
雑収入	740	539
営業外収益合計	3,537	5,565
営業外費用		
支払利息	363	262
棚卸資産廃棄損	134	59
貸倒引当金繰入額	-	203
雑支出	157	328
営業外費用合計	655	855
経常利益	11,611	13,197
特別利益		
固定資産売却益	30	267
投資有価証券売却益	365	23
子会社清算益	13	-
受取保険金	298	-
特別利益合計	708	290
特別損失		
固定資産除売却損	34	29
早期割増退職金	17	9
特別損失合計	52	38
税金等調整前四半期純利益	12,267	13,449
法人税等	5,128	5,354
四半期純利益	7,139	8,094
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,793	1,644
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,346	6,450

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	7,139	8,094
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,385	△1,854
繰延ヘッジ損益	385	255
為替換算調整勘定	3,364	9,869
退職給付に係る調整額	△73	△174
持分法適用会社に対する持分相当額	2,057	773
その他の包括利益合計	8,120	8,870
四半期包括利益	15,260	16,965
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,610	12,420
非支配株主に係る四半期包括利益	2,649	4,544

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2022年6月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式2,846,600株の取得を行いました。これを含む自己株式取得等の結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が5,200百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が31,388百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	欧州	アジア	アフリカ	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	34,370	21,137	18,076	14,998	7,686	96,269	1,497	97,767	-	97,767
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	2,710	22	55	719	84	3,592	-	3,592	△3,592	-
計	37,080	21,160	18,131	15,717	7,770	99,861	1,497	101,359	△3,592	97,767
セグメント利益	4,073	2,232	1,560	2,705	262	10,834	777	11,611	-	11,611

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、アメリカ・メキシコ等の現地法人の事業活動を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。
4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域  
 インド……インド、バングラデシュ、ネパール等  
 欧州……スロベニア、トルコ、オーストリア等  
 アジア……インドネシア、タイ、中国等  
 アフリカ……南アフリカ、ウガンダ、ジンバブエ等

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	日本	インド	欧州	アジア	アフリカ	計				
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	35,383	34,613	23,537	16,080	9,247	118,862	1,586	120,448	-	120,448
(2) セグメント間の内部 売上高または振替高	3,391	9	40	984	37	4,463	-	4,463	△4,463	-
計	38,775	34,622	23,578	17,064	9,284	123,325	1,586	124,911	△4,463	120,448
セグメント利益	5,127	3,571	1,023	2,125	1,195	13,043	153	13,197	-	13,197

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、アメリカ・メキシコ等の現地法人の事業活動を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。
4. 日本以外の各セグメントに属する主な国または地域  
 インド……インド、バングラデシュ、ネパール等  
 欧州……スロベニア、トルコ、オーストリア等  
 アジア……インドネシア、タイ、中国等  
 アフリカ……南アフリカ、ウガンダ、ジンバブエ等